

i 制度の概要

工作機械の本質を踏まえた学術的研究に対して助成を行う制度です。複数の研究課題をまとめて1つの**プロジェクト研究**として組織し、研究リーダーの指揮の下で遂行します。

採択された複数の研究課題の中から、財団が**研究リーダー**を選任し、他の採択課題と組み合わせで全体を1つの研究ユニットとして構成。プロジェクトリーダの指揮により効果的な研究推進を図ります。

🔧 支援内容

☐ プロジェクト研究助成

数件の研究をまとめて1つの研究ユニット（プロジェクト）として構成。研究期間は最長3年間。

最大3,000万円

個別300～600万円

☐ 個別研究助成

プロジェクト研究に組み込まれなかった課題や体制整備困難な場合に別途実施。単独研究での助成。

最大600万円

期間最長3年

🎯 対象となる取組

【5つの想定研究テーマ】

- ☐ 3Dプリンタによる特殊形状砥石車の創出
- ☐ 暖機運転時間「零」の熱変形低減設計
- ☐ 国際化対応の機械加工システム
- ☐ 高度化機械系に適する工程設計
- ☐ 転がり主軸受の減衰能研究

【研究対象分野】

- ☐ 工作機械の本質を踏まえた学術的研究
- ☐ 機械加工技術の高度化に関する研究
- ☐ 工作機械システムの最適化研究

👥 対象者

- ☐ **大学**の研究者・教員
- ☐ **高等専門学校**の研究者・教員
- ☐ **公的研究機関**の研究者
- ☐ **企業**の研究開発担当者

💡 採択率向上のポイント

- ☐ **学術性の明確化**：工作機械の本質に基づく研究内容
- ☐ **実用性の証明**：**産業界**への貢献可能性を具体化
- ☐ **連携体制構築**：他研究者との協力体制を明示
- ☐ **継続性の担保**：3年間の研究計画を詳細に作成

📊 戦略的分析

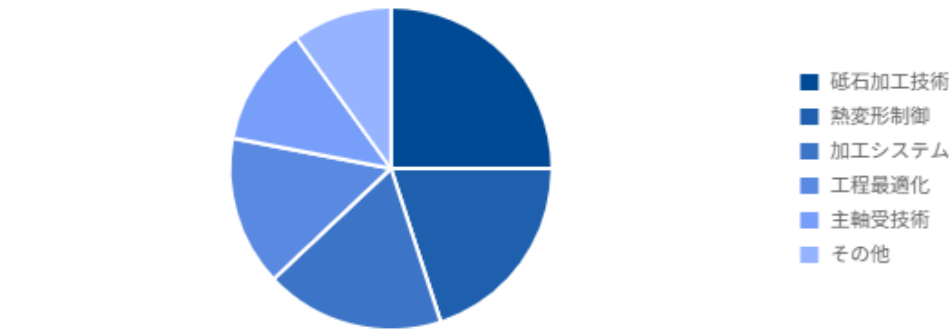
【プロジェクト化戦略】

- ☐ **複数課題**での連携効果を強調
- ☐ 研究リーダーとしての**統括力**をアピール
- ☐ 他採択課題との**相乗効果**を明示

【研究テーマ選定戦略】

- ☐ **5つの想定テーマ**から関連分野を選択
- ☐ 独自テーマでも**学術的価値**を明確化
- ☐ 産業界のニーズと**研究課題**の整合

📈 助成実績の構成



年間助成件数：研究ユニットとして約3件程度
平均助成額：約2,500万円（1ユニットあたり）

🔧 研究分野と事例

研究分野	具体的な取組例
砥石加工技術	3Dプリンタ特殊形状砥石車
熱変形制御	暖機運転時間の短縮技術
加工システム	国際対応機械加工システム
工程最適化	高度化機械系の工程設計
主軸受技術	転がり軸受の減衰能評価

👥 専門家活用のススメ

- ☐ **産学連携コーディネーター**：研究組織構成支援
- ☐ **技術経営専門家**：プロジェクト管理手法指導
- ☐ **工作機械業界専門家**：実用性評価と助言
- ☐ **研究企画専門家**：申請書作成と戦略立案

📁 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/09/12作成】

提出書類	チェックポイント
所定申請書（書式4）	☐ 研究目的 と学術的意義を明記 ☐ 3年間の 具体的計画 を詳述 ☐ プロジェクト化への 協力意欲 表明
研究計画書	☐ 工作機械との関連性を明確化 ☐ 年次別の研究進捗計画
予算計画書	☐ 300～600万円範囲での適正積算 ☐ 研究内容との整合性確保
研究者略歴	☐ 工作機械分野の研究実績 ☐ 過去の助成実績と成果

📅 申請スケジュール

- 事前準備期間**
研究計画策定に2～3か月程度。他研究者との連携体制構築が重要。財団への事前相談を強く推奨。
- 申請受付**
随時受付
電子媒体での提出を推奨。押印は不要。
※年度予算額に達した場合は募集終了
- 審査期間**
財団審査委員会での審査（約2～3か月）
- 採択決定**
理事会で最終決定・研究リーダー選任
- 研究開始・報告**
助成金交付後研究開始
研究期間終了後3か月以内に報告書提出必須

⚠️ 補足事項

- ☐ 年度予算額に達した場合は募集を途中で終了する場合があります
- ☐ 研究期間終了後の報告書は製本し関係機関へ配布・普及啓発に活用

❓ 問い合わせ

制度詳細	https://www.kousakukikai-zaidan.or.jp/essential/680-2/
お問い合わせ	公益財団法人工作機械技術振興財団 TEL: 03-5731-0709 FAX: 03-5731-0819